

心理学・教育学委員会分科会の設置について

分科会名：公正原理を重視する公教育システムの再構築分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	心理学・教育学委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>現代社会は、グローバル化と個人化という2つの用語で大まかに特徴づけることができる。グローバル化によって、人・モノ・カネ・情報は国境の壁を超えて縦横無尽に行き交っている。各国内で生じる問題は、もはや純粋な国内問題ではありえない。他方で、個人化の趨勢は共同体的な紐帯を弱体化させた。私たちは、災害・失業・高齢化・育児不安といったリスクに対して、一個人として直面しなければならない状況となっている。</p> <p>そこで改めて問われるのが、現代における公教育の意味である。国民教育の装置として成立・発展してきた日本の教育システムは、画一主義的・管理主義的な性質を色濃く有しており、各方面でその機能不全が取り沙汰されている。その合理化・効率化のために今日主として採用されているのが、競争原理や成果主義を中心とする改革の手法である。そうした状況のもとで、もっぱら顧みられるのは教育の「卓越性」(excellence)であり、教育の「公正」(equity)の原則は等閑視されがちである。</p> <p>本分科会では、そうした問題状況を背景に、教育を受ける一人ひとりのニーズに応じた教育を保障する「公正原理」を重視した公教育システムのあり方を再検討してみたい。具体的には、「格差」や「貧困」や「社会的排除」といった現代的な諸課題に対して、有効な手立てとなりうる教育の制度・内容・方法の抜本的な検討を行い、具体的な提案に結びつけたい。</p>
4	審議事項	教育を受ける一人ひとりのニーズに応じた教育を保障する「公正原理」を重視した公教育システムのあり方に係る審議に関すること
5	設置期間	期限設置 平成26年10月23日～29年9月30日 常設
6	備考	

